

表1 診断領域別の診断項目

1)	<p>ネットワークとしての特性に関すること</p> <p>1-1 メンバーはそれぞれ独立しているか。ネットワーク関係者から介入されていないか</p> <p>1-2 メンバーの意思や主体性は尊重されているか</p> <p>1-3 メンバーの参加や脱退が自由になっているか</p> <p>1-4 メンバーの権限と責任が分散しているか</p> <p>1-5 メンバーが果たすべき役割は固定化していないか、可変的で柔軟であるか</p>
2)	<p>活動目的・ミッション・目標に関すること</p> <p>2-1 活動目的が明確か（指向性）</p> <p>2-2 活動目的がメンバーに共有されているか</p> <p>2-3 ミッションが明確か（指向性）</p> <p>2-4 ミッションがメンバーに共有されているか</p> <p>2-5 到達目標が具体的に示されているか（指向性）</p> <p>2-6 到達目標がメンバーに共有されているか</p>
3)	<p>資源の到達可能性に関すること</p> <p>3-1 行動ルール(例：いつ、どこで、どのように資源を提供・交換するか等)が決まっているか</p> <p>3-2 行動ルール(例：いつ、どこで、どのように資源を提供・交換するか等)の改善ルールが決まっているか、あるいはその仕組みができているか</p> <p>3-3 行動ルール(例：いつ、どこで、どのように資源を提供・交換するか等)がメンバーに共有されているか</p> <p>3-4 資源提供・交換が停滞していないか（活性）</p> <p>3-5 資源の最大提供・交換量が決まっているときに、その量を超えて提供・交換されていないか</p> <p>3-6 資源提供・交換が迅速に行われているか（迅速性）</p> <p>3-7 メンバーが資源提供・交換できる機会が公平に開かれているか（トランジションが公平に発火可能か）</p> <p>3-8 各メンバーの資源の提供と受け取ることのバランスがとれているか（保存性）</p> <p>3-9 各メンバーとも、資源提供・交換により需要が満たされているか（充足性）</p> <p>3-10 メンバー間のメリット、デメリットが偏在していないか（互惠性）</p>
4)	<p>資源に関すること</p> <p>4-1 目標達成のために必要な資源の種類が明確になっているか（有界性）</p> <p>4-2 目標達成のために必要な資源がネットワーク内で確保されるか</p> <p>4-3 目標達成のために必要な資源が調達されているか</p>